

## 環境調査結果のお知らせ

令和8年1月26日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

### 概況

検鏡の結果、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最高で 7 cells/mL 確認されました。

アレキサンドリウム属は 100 cells/mL に達すると、二枚貝を毒化させる可能性があり、令和6年2~3月及び令和7年2~4月には当該プランクトンによると推察される麻痺性貝毒が発生しています。また、平成29年にはアレキサンドリウム属の赤潮（最高：7,800 cells/mL）により、養殖マダイ及びカンパチでも被害が確認されています。当該プランクトンは、今後増殖する可能性がありますので、十分注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	珪藻	アレキサンドリウム属
A ガラク (-) 【10:31】	0	17.1	34.5	7.3	-	0
	2	17.1	34.6	7.3	-	0
	5	17.1	34.6	7.2	-	0
	10	17.1	34.6	7.2	-	0
	底層 15	17.0	34.6	7.3	-	-
B 勢井 (-) 【10:41】	0	16.9	34.5	7.5	-	3
	2	16.9	34.7	7.4	-	2
	5	17.0	34.7	7.3	-	0
	10	16.8	34.7	6.8	-	3
	底層 19	16.4	34.7	7.3	-	-
C 馬の背 (-) 【10:51】	0	17.0	34.6	7.2	30	1
	2	17.0	34.7	7.2	0	0
	5	17.0	34.7	7.2	10	0
	10	17.0	34.7	7.2	0	0
	底層 21.5	16.5	34.7	7.1	-	-
D 大室戸 (-) 【10:20】	0	16.9	34.4	7.2	-	0
	2	17.0	34.7	7.1	-	0
	5	17.0	34.7	7.0	-	0
	10	16.9	34.7	7.0	-	0
	底層 20	16.9	34.7	6.9	-	-
E 湾奥ブイ (-) 【10:06】	0	16.7	34.6	7.3	0	3
	2	16.8	34.7	7.3	10	2
	5	16.7	34.7	7.2	0	7
	10	16.6	34.7	7.2	0	2
	底層 16.5	16.5	34.7	7.1	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3	
				野見湾	
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	1~4月	

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 湾奥ブイ